

名前

/

1

ある学校で、道のりが 12km のマラソン大会が行われた。太郎くんはスタート地点から給水地点までを毎秒 3 m の速さで走り、給水地点で立ち止まり 6 分の休憩をとった。その後ゴールまでを毎秒 5 m の速さで走ると、タイムはちょうど 1 時間であった。スタート地点から給水地点までにかかった時間と、スタート地点から給水地点までの道のりをそれぞれ求めなさい。

上の問題に対して愛さん、真くんはそれぞれ次のように連立方程式をつくった。

[愛さんがつくった連立方程式]

スタート地点から給水地点までにかかった時間を  $x$  分、給水地点からゴールまでにかかった時間を  $y$  分として、

$$\begin{cases} x + 6 + y = \textcircled{1} \boxed{\phantom{00}} \\ \textcircled{2} \boxed{\phantom{00}} = 12000 \end{cases}$$

[真くんがつくった連立方程式]

スタート地点から給水地点までの道のりを  $x$  m、給水地点からゴールまでの道のりを  $y$  m として、

$$\begin{cases} x + y = \textcircled{3} \boxed{\phantom{00}} \\ \textcircled{4} \boxed{\phantom{00}} = 60 \end{cases}$$

次の問いに答えなさい。

- (1)  $\textcircled{1}$   ,  $\textcircled{2}$   に入る数または式を答えよ。①(      ) ②(      )
- (2)  $\textcircled{3}$   ,  $\textcircled{4}$   に入る数または式を答えよ。③(      ) ④(      )
- (3) 太郎くんがスタート地点から給水地点まで走るのに何分かかったか求めよ。(      分)
- (4) スタート地点から給水地点まで何 m だったか求めよ。(      m)